

## 総務企業委員会会議録

- 1 日 時 令和3年10月5日(火曜日)  
午前9時30分～午前9時46分
- 2 場 所 委員会室
- 3 出席委員 猶野智和 委員長 坪井康男 副委員長  
山中佳子 委員 高木法生 委員  
岡山隆 委員 村田弘司 委員  
山下安憲 委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員外出席議員  
竹岡昌治 議長
- 6 出席した事務局職員  
石田淳司 議会事務局長 阿武泰貴 議会事務局係長  
篠田真理 議会事務局主査
- 7 説明のため出席した者の職氏名  
波佐間敏 副市長 山本幸宏 会計管理者  
白井栄次 上下水道局長 岡崎輝義 管理業務課長  
佐伯憲一 施設課長 岡崎基代 監査委員事務局長
- 8 会議の次第は次のとおりである。

午前9時30分開会

○委員長（猶野智和君） おはようございます。ただいまより、総務企業委員会を開会いたします。

さきの本会議におきまして、本委員会に付託されました市長提出議案1件につきまして審査いたしたいと思っておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、議案の質疑の後、必要があれば、市長に出席いただき総括質疑を行い、その後、討論、採決を行うことといたします。

それでは、議案第71号令和2年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定について、執行部より説明を求めます。佐伯施設課長。

○施設課長（佐伯憲一君） それでは、議案第71号令和2年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定について御説明いたします。

主要施策成果報告書は25ページ、各会計歳入歳出決算書は19ページから、各会計決算附属書は141ページからになります。

この事業は、秋吉台・秋芳洞の自然保護と地域の環境衛生向上を目的として、昭和48年度から施設の供用を開始しております。

最初に歳出ですが、主要施策成果報告書の25ページを御覧ください。

下の表になります。イ歳出についてであります。

1環境衛生事業では、令和2年度決算額1,779万8,000円となっており、2予備費では決算額0円で、歳出合計1,779万8,000円となり、前年度と比較して871万8,000円の減でございます。

この主な理由として、業務委託料及び修繕料の減によるものでございます。

次に、会計決算附属書の45ページを御覧ください。

主な支出として、下から8行目になります。1目処分場管理費、13委託料として844万8,197円を支出しております。

これは、秋吉し尿処理施設などの維持管理業務のほか8業務に要した費用でございます。

また、不用額についてですが、下から10行目になりますけど、1目処分場管理費、11需用費では157万9,796円となっております。この不用額の主なものは、修繕料及び光熱水費でございます。

次に、歳入ですが、主要施策成果報告書の25ページを再び御覧ください。

中ほどの表になります。ア歳入についてであります。

1 分担金及び負担金については、令和2年度決算額0円となっており、次の2使用料及び手数料については、決算額340万2,000円となっております。

この使用料及び手数料ですが、前年度と比較して、決算額では58万1,000円の減、増減率は14.6%の減でございます。

この主な理由といたしましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、秋吉台・秋芳洞の観光施設への来訪者の減少に伴い、使用料が減少したことによるものでございます。

3 繰入金については、決算額1,439万3,000円となっております。

この繰入金でございますが、前年度と比較して決算額は813万7,000円の減、増減率は36.1%の減でございます。

この理由として、前年度と比較して歳出の総額が減少したため、これに伴う一般会計からの繰入金が減額となったことによるものでございます。

4 諸収入でございますが、決算額3,000円で、歳入合計1,779万8,000円でございます。

以上で説明を終わります。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それでは、ちょっと質問してまいりたいと思います。

令和2年度の環境衛生事業特別会計歳入歳出決算で、20、21ページ、この中で、この事業に関しては、昭和41年から開始されたという説明がありました。それから、この事業を開始し始めて、その世帯というのは、例えば広谷、また秋吉台上等3か所ぐらいあったと思うんですね。

各地域別に、この事業が開始し始めてから、地域別の世帯がまず幾らぐらいあるのか、対象地域は何地区なのか、その辺をまず説明していただきたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 佐伯施設課長。

○施設課長（佐伯憲一君） ただいまの岡山委員の御質問にお答えします。

対象地区について、幾つなのかということでございます。

対象地区につきましては、広谷地区、秋吉地区の2地区を対象としております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 広谷と——それで、私がちょっと聞いておるのは、秋吉台上、そして家族旅行村、そして広谷地域、この区分けで主に3つ分かれていて、事業の対象エリアは130世帯ぐらいと聞いておりますけれども、それはちょっと間違いなんでしょうか。この辺の確認、併せてお願いします。

○委員長（猶野智和君） 佐伯施設課長。

○施設課長（佐伯憲一君） ただいまの岡山委員の御質問にお答えします。

主要施策成果報告書の25ページの上段——上から4行目——5行目になりますけど、処理対象区域は、秋吉台地区40ヘクタール、広谷地区15ヘクタール、そして、秋吉台家族旅行村45.6ヘクタールの計100.6ヘクタールでございます。計画対象の戸数につきましては130戸となっております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） ありがとうございます。

そういった形で、3地区エリアで130戸、世帯ということで——あることを確認いたしました。

それで、その中で、今回、歳入の部分について、皆さん感じられておると思えますけれども、使用料及び手数料ですけど、これが、歳入済みが340万千円——約ね。それから、収入未済額が1,364万円です。

それで実際、使用料の回収率が20%程度ということで、こういった実態があります。これについては、前年度、前々年度、これについても33から段々下がって、とうとう20%までになりました。

これに対して、具体的にどのような手を打たれるのか、もう手の施しようがないのか、これについてお尋ねします。

○委員長（猶野智和君） 佐伯施設課長。

○施設課長（佐伯憲一君） ただいまの岡山委員の御質問にお答えいたします。

令和2年度の収入未済額、過年度滞納繰越分でございますけど、1,313万4,989円となっております。この大半が、秋芳町の宿泊関連施設の閉業に伴うものが大半でございます。

上下水道局といたしましては、収納対策といたしましては、水道停水時に連携し

て、支払い計画書の提出、分納を求めているところでございます。

今後も、収入未済額につきましては、水道と連携して、未収金対策に取り組んでいるところでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） これについては、今、少し詳しくお話がありました。

実際のところ、秋吉台上における宿泊施設が1年半ぐらい前に倒産したということで、その繰越欠損。なかなかこれを回収していくというのは、もう難しいことであると考えております。

これについて、今後しっかりとこのホテル、今まだ結構丈夫な建物ですから、今後市のほうで、いろんな手を打っていただくことが、この未収金を回収する上で一番早い手の打ち方ではないかと、このように思っております。

なかなか1つの、こういった担当部署で解決できる問題ではないとは思っておりますので、総合的に勘案しながら、こうした未収金をしっかりと収入未済——不納欠損額、収入未済額をしっかりと解消していく、そういった方向性であっていただきたいと思っております。

これはもう課長に言ってもしょうがないし、これ、市長に対する総括質問で、この辺は伺っていこうと思っておりますので。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、本議案について、市長に出席いただき質疑を行うことについて、委員の皆さんの御意見をいただきたいと思っております。どうですか。（発言する者あり）

それでは、これより議案の討論、採決に入ります。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

それでは、これより議案第71号を採決いたします。本案について、原案のとおり認定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第71号は原案のとおり認定されました。

以上をもちまして、本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。

その他、委員の皆さんから所管事項につきまして何かございましたら、発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） ないようでしたら、これにて本委員会を閉会いたします。御審査、御協力、誠にありがとうございました。お疲れさまでございました。

午前9時46分閉会

---

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和3年10月5日

総務企業委員長